

ほけんだより

宮城県角田高等学校保健室

感染症対策

令和5年9月21日

今年の夏は猛暑続きで、体調を崩す人が多くいました。よく「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、もう少しの間、暑い日が続くと思いますので、水分を多めに持参するなど対策を行ってください。

また現在、新型コロナウイルス感染症に加え宮城県内でもインフルエンザに罹患する人も多くみられます。これからの季節、感染性胃腸炎などの流行も考えられます。うがい・手洗い、換気等、引き続き感染症対策を各自しっかり行いましょう。

登校前に健康観察をしっかり行い、発熱や風邪症状等がある時は、無理をせず自宅にて療養してください。また、風邪症状がある場合はマスクの着用を心がけてください。



<感染症・出席停止期間について>

種類	出席停止の期間
インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1) を除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質による治療が終了するまで
麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が出現したあと5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
風しん(三日ばしか)	発しんが消失するまで
水痘(みずぼうそう)	すべての発しんが痂皮化するまで
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

☆インフルエンザ・感染性胃腸炎について☆

インフルエンザ・・・主な症状は、急な発熱(高熱)、悪寒、頭痛、咽頭痛、咳、鼻汁、鼻づまり、

全身の倦怠感や筋肉痛、関節痛です。

潜伏期間は、平均2日(1~4日)

感染経路は、飛沫感染・接触感染です。

感染性胃腸炎・・・主な症状は、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛等です。

潜伏期間は、12~48時間(ノロウイルス)

感染経路は、飛沫感染・接触感染・経口感染です。

出席停止期間:「病状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認めるまで」



感染症に負けない、体作りを心がけてください。十分な睡眠、バランスの取れた食事。3食、しっかり食べましょう。